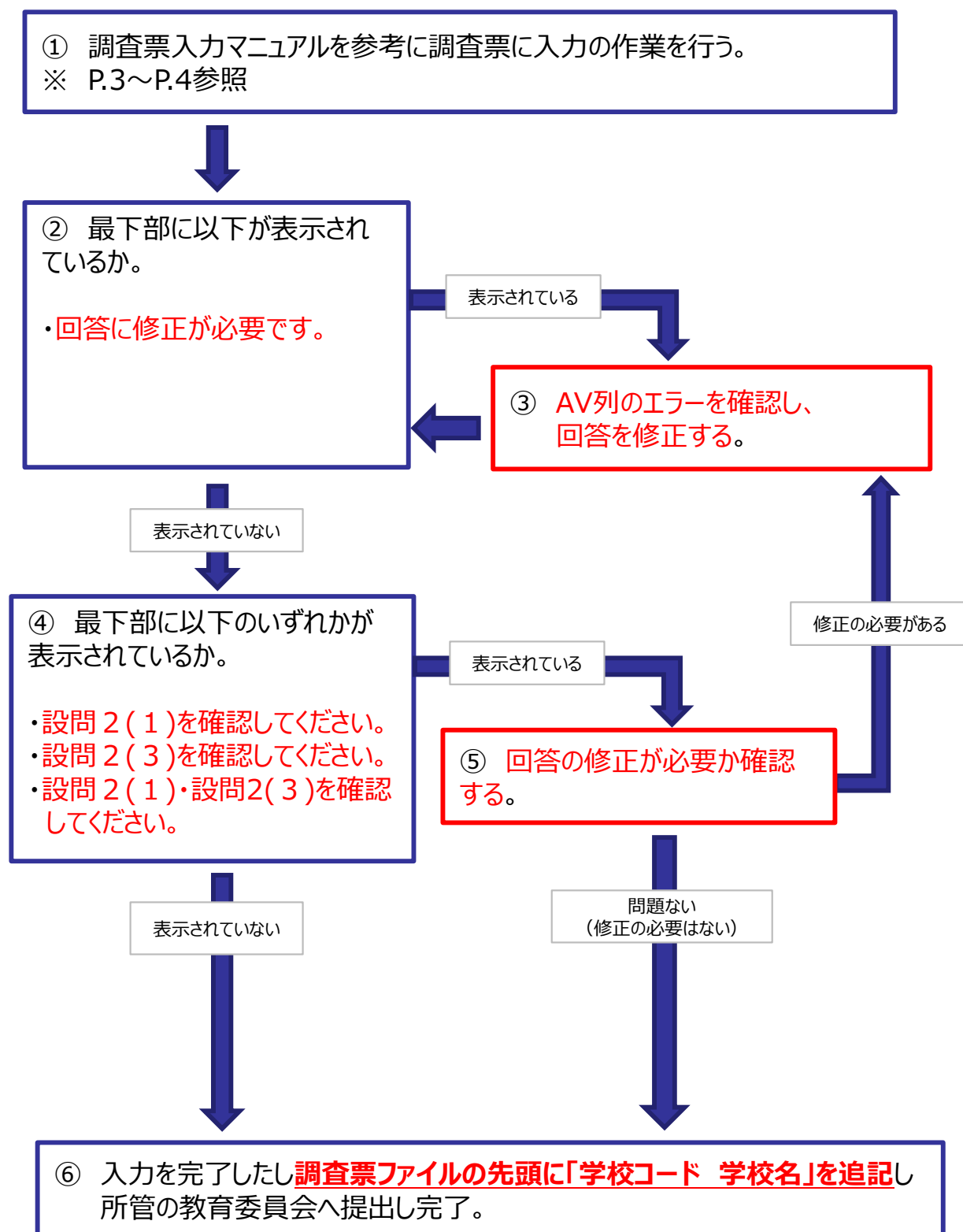


# 「調査票(エクセル・ファイル)」入力の流れ



# 「調査票(エクセル・ファイル)」入力マニュアル

## － 目 次 －

### I. 入力

- (1) 学校基本データの「学校コード」の入力
- (2) 入力項目欄の背景色
- (3) プルダウンリストによる選択式回答
- (4) 入力時のエラーメッセージについて
- (5) 調査票3(1)教員のICT活用指導力の状況について

### II. 入力後～報告の流れ

- (1) 入力データの確認
- (2) エラーの確認・修正
- (3) 調査票ファイルの保存
- (4) 調査票ファイルの印刷
- (5) 回答データ(Excelファイル)の提出(メール送信)

### ＜参 考＞ エラー及びアラートメッセージ一覧 エラーメッセージ一覧

■調査票(エクセル・ファイル)に回答する場合に、本ガイドをご参照ください。

■調査票は、Excelのファイル形式です。  
バージョンは、Excel2013以降となります。

■ご不明な点は、所管の教育委員会までお問い合わせください。

# I. 入力

## (1) 学校基本データの「学校コード」の入力 ※必ず最初に入力してください。

学校コードを入力すると、自動的に学校名・郵便番号・所在地が表示されます。

※ 存在しないコードを入力してしまった場合は、学校名に「学校コードが正しくありません」と表示されます。

間違った学校コードを入力してしまった場合は、学校コードを入力し直してください。

【調査票1ページ目】

○基本データ

学校コード ( )

学校名 ( )

〒 ( - )

所在地 (番地等) ( )

入力すると

自動表示されます

※ 学校名・郵便番号・所在地は直接入力することができません。

※ 令和6年度調査より、養護学校は特支学校と表示されます。

## (2) 入力項目欄の背景色

入力項目の背景色は薄緑色となっています。薄緑色の項目について、ご回答ください。  
項目の背景色は以下のものがあります。

- 入力項目
- 自動計算(入力できません)
- 入力不可の項目(入力の必要はありません。入力した場合はエラーになります。)
- エラー(入力不要の項目に回答が入力されています。回答を削除してください。)

【例 : 調査票1ページ目】

教員の数	( 令和7年3月1日現在 )	→	( 0 )	人
	(うち 令和6年度において授業を担当している教員)		( )	人
	(うち 上記以外の教員)		( )	人

# I. 入力

## (3)プルダウンリストによる選択式回答

選択式の問については、プルダウンリストを用意しています。  
プルダウンリストの「▼」をクリックして該当する番号を選択するか、該当の番号を入力してください。

### 【例 1】

( 1 ) 接続方式種別

回答

1	= 集約接続(固定系通信)
2	= 直接接続(固定系通信)
3	= 直接接続(移動系通信)
4	= 「1 集約接続(固定系通信)」と「2 直接接続(固定系通信)」を併用
5	= 「1 集約接続(固定系通信)」と「3 直接接続(移動系通信)」を併用
6	= 「2 直接接続(固定系通信)」と「3 直接接続(移動系通信)」を併用
7	= 未接続

プルダウンリスト

→ ( 1 ) ▼

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7

## (4)入力時のエラーメッセージについて

入力時に例のようなメッセージボックスが表示された場合は、4ページのエラーメッセージ一覧を参考にし、メッセージの内容に応じて入力値を変更してください。

### 【例 2】

→ ( 8 ) ▼

範囲外

× 範囲外の値が入力されました。

再試行(R) キャンセル(C)

このこと。

## (5)調査票3(1)教員のICT活用指導力の状況について

教員数が多い場合等は別添の「集計ファイル【3.(1)教員のICT活用指導力の状況(授業を担当している教員)】」を活用ください。

## Ⅱ. 入力後～報告の流れ

### (1) 入力データの確認

基本データ及び設問1～設問3の全ての質問項目への回答が終了したら、回答内容が正しい回答欄に入力されているか確認してください。

### (2) エラーの確認・修正

調査票の2行目と300行に「回答に修正が必要です。」等と表示されていないか確認してください。

- ①「回答に修正が必要です。」の表示がある場合は、各回答のAV列を確認し、エラーメッセージが表示されている回答を修正し、このメッセージが出ないようにしてください。

【例：未入力項目がある場合】

	AV列
→ ( <span style="background-color: #90EE90; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 40px; height: 15px;"></span> )	未入力

- ② 以下のいずれかの表示がある場合は設問2(2)において教室等数が0だがその教室において、PC台数(設問2(1))や周辺機器の台数(設問2(3))が1以上で回答されています。**内容に問題がある場合は修正してください。問題がない場合はそのまま提出することができます。**

- ・設問2(1)を確認してください。
- ・設問2(3)を確認してください。
- ・設問2(1)・設問2(3)を確認してください。

### (3) 調査票ファイルの保存

画面メニューの「上書き保存」で保存してください。  
次回以降はそのファイルを開いて入力を再開してください。

### (4) 調査票ファイルの印刷

Excel標準の印刷機能(画面メニューの「ファイル」→「印刷」など)で印刷できます。

### (5) 回答データ(Excelファイル)の提出(メール送信)

回答内容に誤りがなければ、入力した調査票ファイル(Excelファイル)の名称に「**学校コード 学校名**」を追記し、所管の教育委員会へメールに添付して提出(送信)します。

以上で操作は終了です。ご協力ありがとうございました。

## 参考 エラー及びアラートメッセージ一覧

エラーチェック	エラーメッセージ	対処方法
必須入力チェック	「未入力」 (AV列に表示)	必須入力項目ですので、必ず入力してください。
数字項目チェック	「0以上の整数で入力してください。」 (メッセージボックスで表示)	「キャンセル」を押すか、「再試行」を押して正しい数値を入力し直してください。
範囲チェック	「範囲外の値が入力しました。」 (メッセージボックスで表示)	「キャンセル」を押すか、「再試行」を押して正しい値を入力し直してください。
整合性チェック	次ページの「参考エラーメッセージ一覧」を確認して訂正してください。該当箇所はピンク色になります。(AV列に表示)	※次ページの1～10を参照し、該当項目を確認のうえ、該当箇所を修正してください。
入力不可チェック	「～は入力できません」 (AV列に表示)	ピンクの背景色のセルの入力値を削除してください。

アラートメッセージ	内容
設問2(1)をご確認ください。	設問2(2)周辺機器の設置場所及びネットワーク対応状況で③コンピュータ教室を0と回答しているが、設問2(1)のコンピュータ教室の占有PC台数を1以上と回答している。
設問2(3)をご確認ください。	設問2(2)周辺機器の設置場所及びネットワーク対応状況における学校内の教室等数において0と回答している教室等において、設問2(3)周辺機器台数が1以上と回答している。

## 参考 エラーメッセージ一覧

※以下の1～10を参照し、該当箇所を修正してください。

1. 設問1(1)「インターネットへの接続状況等」で「1＝集約接続(固定系通信)」「2＝直接接続(固定系通信)」「4＝「1 集約接続(固定系通信)」と「2 直接接続(固定系通信)」を併用」のいずれかを選択した場合は、設問1(2-2)回線種別(移動系通信を利用している場合)が入力不可となる。
2. 設問1(1)「インターネットへの接続状況等」で「3＝直接接続(移動系通信)」を選択した場合は、設問1(2-1)回線種別(固定系通信を利用している場合)が入力不可となる。
3. 設問1(1)「インターネットへの接続状況等」で「7＝未接続」を選択した場合は、設問1(2-1)回線種別(固定系通信を利用している場合)～設問1(2-2)回線種別(移動系通信を利用している場合)までが入力不可となる。
4. 設問2(1)「コンピュータの台数」で、各項目の「コンピュータ教室の占有PC台数」は各項目の「総数」の内数とすること。
5. 設問2(2)「周辺機器の設置場所及びネットワーク対応状況(各学校種共通)」で、
  - ・「大型提示装置を設置している教室等数」、「実物投影装置を設置している教室等数」及び「校内LAN整備済教室等数」は、それぞれ「学校内の教室等数」の内数とすること。
  - ・「無線LAN整備済教室等数」は「校内LAN整備済教室等数」の内数とすること。
6. 設問2(5)①「遠隔教育の実施状況」で「2＝意向はあるが、実施できていない」「3＝実施していない」を選択した場合、設問2(5)②③は入力不可である。
7. 学校コードが「B」から始まる学校は設問2(5)①「遠隔教育の実施状況」で「1＝実施している」を選択した場合、設問2(5)②の「教科・科目充実型」は入力不可である。
8. 設問3(1)(2)教員のICT活用指導力の状況で、  
各小項目(A-1～D-4)ごとの「できる」、「ややできる」、「あまりできない」、「ほとんどできない」に入力された教員数の合計が、基本データの「教員の数(「うち令和XX年度において授業を担当している教員」)」と一致すること。
9. 設問3(2)①研修の受講状況で回答する教員数は、基本データの「教員の数(「うち令和XX年度において授業を担当している教員」)」の内数とすること。
10. 設問3(2)②受講した研修の実施主体で回答する参加回数の合計は、3(2)①で回答した教員数と同じか、上回ること。